

松風会 NEWS

(ゆめクラブ News) 452号 2024年(令和6年)4月号

暦では冬から春になったばかりですが、このところの気温は4~5月ごろを思わせる暖かさが続いています。梅花は見頃ですが、早いところでは桜が開花して見物客で賑わっているようです。既に終わったようですが、中国の旧正月の時期もあり、中国などからの観光客がドット押し寄せ、外国観光客数はコロナ以前のレベルまでに回復した様子。観光地などにお出掛けの際には、マスクや手洗いなどの基本を忘れないようにしましょう。新型コロナの感染者数が減少の様ですが、この時期インフルエンザの流行が若年層を中心に広がっている様子なので、要注意です。

3月度定例会(9日、土、10:00~11:30)は開催します。当月は3班が担当ですので、会場の設営、余興(出し物)の提供をお願いします。当月は年度末でもあり、毎月一度の会員交流の場ですので、大勢のご出席をお願いします。ご承知の通り、人的交流して対話の機会をもつことは私達高齢者にとって健康上大切なことの一つです。お互いに声掛けなどしてお誘いの上、多くの方々のご出席をお待ちしております。

1. 2月度定例会(10日、土、10:00~11:30) 出席者 28名 (会員数 55名)

① 全員で「クラブ 松風会の歌」を斉唱。

② 誕生会; 2月は 石川達雄さん、大友百合子さん、伊藤和子さん、大友元春さん、釘宮男也さん、竹田由美子さん、明利徹次さん の方々です。おめでとうございます。(明利さん 欠席)

お祝い品を差し上げたあと、全員で恒例の「ハッピーバースディ」を歌い、お祝いをしました。お誕生の方から「こうして皆さんと一緒に楽しい機会を作っていたことに感謝したい」との言葉がありました。

③ 3月誕生の方々; 池上升也さん、浦嶋 稔さん、那須嗣夫さん、池上久恵さん、綿貫悦子さん、川口 寛さん、高橋栄子さん、小浜俊江さん の方々です。おめでとうございます。

④ 当月余興の担当: 2班は以前にも出演された“エストレージャス”バンドの皆さんによる演奏(巻末写真ご参照)がありました。

⑤ 会員の異動; 南部静江さん、眞保保子さん は当月で退会されました。

2. 連絡事項

①茅ヶ崎市老連「趣味の作品展」が2月20日(火)から22日(木)に開催されました。雨が降る中、佐藤光市長はじめ大勢の方々から心こもった作品や素人とは思えない作品を鑑賞されていました。

②2月27日(火)13:30から 老人福祉センター大広間で「高齢者の難聴の特徴と対応」というテーマで講演があります。現在60名弱ですので、興味のある方は是非足を運んでみてください。

③ゆめクラブ茅ヶ崎「茅ヶ崎老連」会報誌第87号が3月1日発行予定です。届き次第ポストに入れさせていただきます。

寄稿文

家庭菜園の鬼

手島歩三

今年も唐辛子が沢山できた。一味唐辛子にと、すり鉢で擦り始めて昨年のことを思い出した。昨秋は手で丁寧に種を取り除き、市販品に負けないよう、きめ細かに摩り下ろした。終わると、指先が熱い。洗面所で洗って、軽くなり、夕食を食べた。風呂に入るとき、石鹸で指先を洗い流した。しかし、かかり湯して、股間も洗ったところ、ピリッと来た。これはイカン! 大急ぎで、湯で流し、風呂に入った。41度(適温)であったが、猛烈に熱い。しまった、「鬼の霍乱」とはこのことか! 今年は、慎重に風呂に入ろう。

私は29年前に大阪の豊中で阪神大震災に遭遇した。豊中は、断層があった岡町の近くで、大阪でも被害が大きかったところである。直下型の地震であり早朝、寝ている時であったため、逃げるところではなかった。幸い私どもは怪我をせずに済んだが、本棚や食器棚は倒れ、壁には亀裂が入り、水も出ない状態になった。ピアノや冷蔵庫が50センチ以上も動いたのには、驚かされた。外に出た時にガスの匂いが充満し、電信柱が傾いているのを見た時、始めて大災害であることに気付いた。一週間後神戸に被災状況を見に行ったが、まさしくそこは地獄の様相であった。皆テント生活でコンビニには商品はゼロ、皆大阪まで戦時中のように食料を買い出しに出掛けていた。このような体験からいくつかの教訓を得た。その教訓を、幾つか述べてみたい。

1. 安否の状況をすぐ知らせたい人がいたら、地震後10分以内に電話すること。それ以後は絶対にかからない。10分以内は皆動転してかけることに気が回らないから。
2. 自家用車には絶対に乗らないこと。渋滞して動けない。自転車が一番、リュックサックに水を入れ軽装で行動すること。公共の乗り物はすべてだめになる。
3. 3日間の水と食料の確保を。3日間は誰も助けてくれない。備蓄は、家の外か、窓の近くへ。水が重要。ラジオ、マッチやライターも入れておくこと。常備薬も。ガムテープも役立つ。
4. 戸棚等にはツガイをして倒れないようにすること。特に寝室が重要携帯用のトイレまたは囲いをできれば準備を。冬に備えて簡易防寒着、ホカロンも。

その他家族がはなればなれで住んでいる場合、連絡方法をあらかじめ相談しておくことも重要であろう。天災は忘れた頃にやってくる。備えあれば憂いなし。他人事と思わず、ぜひこの教訓を生かしていただきたい。

(写真説明) :

2月定例会での石川さんが率いる“エストレージャズ”バンドメンバーによる演奏。

- ・コンドルは飛んでいく
- ・サリリ
- ・いい日旅立ち (全員で合唱)
- ・てんとう虫のサンバ (全員で合唱)



私の俳句手帳より

臼井重之

ボケ防止にと俳句を始めてから十五年余り。以前は句会にも参加したが、今は「NHK俳句」のテキストを購入してへボ俳句を投稿。なかなか上達しないが、大いに楽しんでいる。

『私の俳句手帳より抜粋』

(春)

- 顔みれば 女なりけり 野焼き人
- すえの子の 嫁ぎし夜の 離あられ一
- 江の電の 窓に江の島 陽炎へり
- 糸もとれ 点滴もとれ 窓の花 (俳句では花は桜のこと)
- たんぼぼや 草喰む山羊の 鼻の先